



高齢聴覚障害者福祉の推進のために

平成27年度全国高齢聴覚障害者施設協議会総会

厚生協会わかふじ寮で6月24日、平成27年度全国高齢聴覚障害者施設協議会総会が開かれました。

この協議会は、北海道・埼玉・大阪・京都・兵庫・広島・福岡の1道6県9施設で構成されており、高齢聴覚障害者福祉の向上と連携交流を目的としています。

総会の会場は、持ち回りでっており、新得では6年ぶりの開催。総会後には交流会を行い、参加者は新得の福祉施設、わかふじ寮、ひまわり荘、やすらぎ荘の視察も行いました。



歯の健康のために

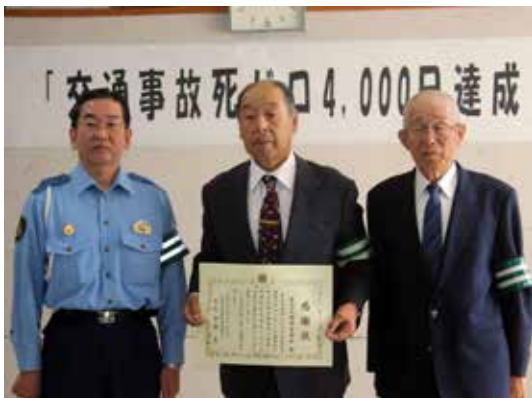
介護予防教室 歯ッスル教室

介護予防教室「歯ッスル教室」が6月30日、なかよし会館で開かれ、なかよしアハハの会のメンバー約30人が参加しました。

この教室は平成22度から口腔機能の保持が介護予防に繋がっているという意識の浸透を目的として開催されています。

今回は、「お口の元気度セルフチェック」としてガムを噛んでガムの色でしゃく力を判定したり、唾液を増やす液腺マッサージをしたり、歯磨きの仕方などの確認を行いました。

参加者は、真剣に話を聞き、時折笑顔を見せながら楽しく教室に参加していました。



左から伊藤署長、竹浦会長、片桐副会長

交通安全推進に尽力

屈足地区交通事故死亡事故ゼロ4000日達成感謝状贈呈

6月29日、屈足地区交通事故死亡事故ゼロ4000日達成の感謝状が伊藤史新得警察署長から竹浦隆屈足交通安全協会会長へ手渡されました。

平成16年7月13日の死亡事故から同協会が中心となり交通事故抑止に向けた各種啓蒙活動を行った結果、6月26日に達成をしました。

この表彰を受け竹浦隆会長は、「交通事故死亡事故ゼロ4000日達成は地域のみならずの協力あつてのもの。これを契機としてさらに伸ばせるよう地域活動へ取り組みたい」と意気込みを語りました。



左から藤森さん、清水会長

観光産業の活性化を

新得町観光協会観光振興専門員辞令交付式

新得町観光協会では、観光産業を活性化させるため、町外からの誘客をより多くする旅行業者との商談や宣伝活動などを行う専門的人材として「藤森宗智（ふじもりむねとも）」さん（44歳）を観光振興専門員として採用し、7月1日に清水輝男町観光協会会長より辞令が交付されました。

清水会長は、「特産品、観光客誘致を積極的に行っていたほしい」と話し、藤森さんは、「町民に見える形で地域活性化を行ってほしい」と意気込みを語りました。



森や緑を増やそう

トムラウシグリーンクラブが緑の羽根募金活動

トムラウシグリーンクラブ（後藤百葉団長）が5月16日、緑の羽根募金活動で集めた3万5019円を町役場林務係へ手渡しました。

この活動は、毎年行われているもので、今回は、屈足セイコマート前、フクハラ新得店前、新得農協前で呼びかけを行いました。

富村牛小中学校の菅野みゆき教頭は「緑の羽根募金の活動を町民の皆さんに知ってもらうことができ、また、町民の皆さんの温かさを感じることができた素晴らしい活動になりました」と話していました。



左から浪岡くん、大森さん

自己ベスト更新を

北海道小学生陸上競技大会出場報告

北海道小学生陸上競技大会（7月25日、26日、千歳市青葉陸上競技場）に出場する屈足南小学校の大森奈々さん（5年生）と浪岡大裕くん（5年生）が6月26日、町長室を訪れ、浜田正利町長に全道大会での健闘を誓いました。

大森さんと浪岡くんは共に3年連続の全道大会出場で、大森さんは100mと走り幅跳び、浪岡くんはソフトボール投げと走り高跳びに出場。

大森さんは「100mで14秒前半を狙う」、浪岡くんは「ソフトボール投げで50mを投げたい」と意気込みを語りました。



交流を通して

新たな友好の輪

東根市立第三中学校生が屈足中学校生と交流

山形県東根市立第三中学校の3年生28人が7月2日、屈足中学校を訪問しました。

東根三中の生徒たちは6月30日からの修学旅行で来道し、昨年の東根市との友好都市20周年をきっかけに、新たな友好の輪を広げようと実施されたものです。

歓迎式では、屈足中生に東根市特産のさくらんぼと東根三中の生徒たちが作った猪野沢焼の箸置がプレゼントされました。

東根三中の学校紹介などを行った後、フロアアクリングで交流を深めました。

8月末には屈足中と富村牛中が修学旅行で東根三中に訪問し交流する予定となっています。



おしゃべりや自習の場として使って

植村・古川・田村共同企業体が新得中に記念品贈呈

新得中学校の改築工事を請け負った植村・古川・田村共同企業体は6月25日、工事完了を記念し、同中学校にテーブル3台を寄贈しました。寄贈されたテーブルは、玄関奥にあるホールの綺麗な山並みが見える大きな窓の前に置かれました。

企業体を代表し挨拶をした植村土建の植村高愛社長は「コミュニケーションの場になってくれれば嬉しい」と話していました。

生徒会を代表し副会長の角茜里さんは「放課後、友達と話したり、先生に勉強を聞いたり大事に利用していきたい」とお礼を述べていました。